

ひょうごけんりつ

# 兵庫県立フラワーセンター

おかこうえん  
ひまわりの丘公園

かしまじんじゃ  
鹿島神社

へいせい ねん がつ にち にち  
平成29年4月16日(日)

ぶん ぱたい  
～文：ボランティア 馬駄さん～

へいせい ねん がつ にち にち まいとしこうれい りょこう い ことし  
平成29年4月16日(日) 每年恒例のバス旅行へ行きました。今年の  
いさき かさいし おのし おかたかざしき  
行き先は加西市のフラワーセンター、小野市のひまわりの丘、高砂市の  
かしまじんじゃ こくせき ちゅうごく  
鹿島神社。国籍はベトナム・中国・インドネシア・ネパール・ペルー・  
ミャンマー・日本の総勢56名、人数が多く、朝が早い為多少遅れは  
ありましたが、いつもお世話になっている文化国際交流財団の方々に  
みおく せわ ぶんか こくさいこうりゆうざいだん かたがた  
見送られてお天気が快晴の中出発しました。バスの席は自由だった  
ため がくしゅうようび がくしゅうじかん ちがはなし ことひとどうしざせき  
為、学習曜日や学習時間の違う、話をした事がない人同士の座席も  
みんなのはなしのはなさ  
ありましたが、皆それぞれ話に花が咲いていました。



さいしょ もくてきち  
最初の目的地のフラワーセンターでは、チューリップ  
まつりが開催されており、500品種22万本の色とりど  
り  
かいさい ひんしゅ まんほん いろ  
かたちさまざま ところせま さ  
り様々なチューリップが所狭しと咲いていて、そ  
のうつく あつとう いしようしちゃくたい  
美しさに圧倒されました。そこでは、衣装試着体  
験が出来るということで、希望する学習者さん達も  
みんなしちゃく なか きき たくさん  
皆試着して、チューリップの中で喜々として沢山の  
しゃしん と たのじかんす たいざいじかん  
写真を撮ったり楽しい時間を過ごせました。滞在時間  
やくじかん すべまわき  
が約3時間だったので、全ては回り切れませんでしたが、  
しきさまざま はなうつく かんどう だいおんしつ さほご  
四季の様々な花の美しさに感動し、大温室で咲き誇る  
うつくらん みほ ねつたいしょくぶつ しょく  
美しい蘭やベゴニアに見惚れたり、熱帯植物や食  
ちゅうしきよくぶつ きょうみしんしん がくしゅうしゃ たちひごろ  
虫植物に興味津々でした。学習者さん達は日頃あまり使わない花の名前やその関連語に触れられて、また語彙を増やせたのではないしょうか。



だいに もくべきち  
第二の目的地のひまわりの丘では、もともと滞在予定時間も  
みじか みんな お あつ そっこう  
短く、皆バスを降りたものの、あまりの暑さに即行でバスの  
ところ もど い かん ほんとう あさ かいせい うえ まなつび  
所へ戻って行った感じでした。本当に朝から快晴の上、真夏日  
いちにち ひ ざ つよ みんなかお あ あつ あつ  
の一日で、かなり日差しが強く、皆顔を合わせれば、暑い暑い  
いと言っていました。

さいご もくべきち かしまじんじゃ せい おおとりい さん  
最後の目的地の鹿島神社は、チタン製の大鳥居をくぐって、参  
どう ある ほんてん まい やますそ じんじゃ すず  
道を歩き本殿にお参りに。ここは山裾の神社なので、とても涼し  
ひいちばん ところ がくしゅうしゃ たち にほん  
くこの日一番ホットできた所でした。学習者さん達も日本の  
じんじゃ とりい こまいぬ さんぱい しかたなど ふしき いっぽい  
神社の鳥居や、狛犬、参拝の仕方等、不思議が一杯のようでした。  
にほんじん わたしたち じんじゃ さんぱい ほどしゅうきょう  
日本人の私達も神社に参拝はするものの、それ程宗教に  
くわ べんきょう ぶそく はんせい  
詳しくはないので、勉強不足と反省するところでもありました。



こんかい りょこう いま らいにち ま がくしゅうしゃ たち にほん うつく ふうけい ぶんか たいけん すこ  
今回の旅行で、未だ来日して間もない学習者さん達は日本の美しい風景と文化を体験し、少しでも  
にほん し こと で き き ごく がくしゅうしゃ たち すてき おも で おも  
日本を知る事が出来、また帰国される学習者さん達には、素敵な思い出になることと思います。また、  
にほんじん わたしたち がくしゅうしゃ たち べんきょう さまざま じこく ぶんか ぞうけい ふか いろいろ  
日本人の私達にとっても学習者さん達に勉強だけでなく、様々な自国の文化の造詣を深め、色々な  
くにどうし そらごりかい いつぼ かん にち  
國同士の相互理解の一歩になればと感じる1日でした。

